



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月7日

上場会社名 株式会社 理経 上場取引所 東
コード番号 8226 URL <https://www.rikei.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小柳 誠
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 長谷川 章詞 TEL 03-3345-2153
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	7,195	16.7	252	6.7	260	10.3	81	△1.5
2026年3月期第1四半期	6,163	16.4	236	60.1	236	61.8	83	607.2

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 86百万円 (2.5%) 2026年3月期第1四半期 84百万円 (252.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	5.41	—
2026年3月期第1四半期	5.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	13,812	6,032	43.4
2026年3月期	12,944	6,058	46.5

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 6,000百万円 2026年3月期 6,025百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		0.00	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	9,900	1.0	200	△52.4	200	△45.7	65	△69.1	4.30
通期	18,900	△3.3	740	△40.2	700	△35.1	420	△43.7	27.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	15,514,721株	2026年3月期	15,514,721株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	395,348株	2026年3月期	395,348株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	15,119,373株	2026年3月期1Q	15,119,403株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、中東情勢や国際紛争の長期化に伴う地政学リスク、エネルギー供給への懸念、原材料価格の高騰等により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社グループは、2025年6月に公表した中期経営計画に基づき、基幹事業の収益強化、新規事業の開拓、宇宙ビジネスおよびAI開発環境構築等のNEXT事業創出を推進いたしました。そのなかで、宇宙ビジネス分野を中心に業務提携・資本提携を進めるとともに、投資機会の検討を継続してまいりました。事業拡大に向けたM&Aに関しては、現時点では合意には至っておりませんが、検討を継続してまいります。

サステナビリティ戦略に基づく、従業員の待遇改善および教育の充実等を通じた人財投資を実施しております。また、法令遵守、経営資源の有効活用および地球環境保全に取り組み、持続的な企業成長を目指してまいります。

当社グループの関連する市場および商材について、システムソリューション事業では、少子化を背景とした大学間競争の激化により、遠隔授業等に対応した質の高い教育環境の提供や実務作業の効率化を目的とする大学のDX化需要が増加しております。

ネットワークソリューション事業では、日本の国家戦略の一つである衛星コンステレーション計画の一環として、低軌道衛星受信局の構築案件が継続しております。

電子部品及び機器事業では、安全保障関連の予算の増加により、防衛省向け装備品の入札案件が順調に推移したほか、多種多様な商材に使用されるニッチ商材である機能性接着剤も引き続き好調に推移しております。

また、当社グループがNEXT事業として注力する市場は、以下のとおりであります。

宇宙ビジネスにおいては、安全保障分野において宇宙空間の活用需要が急増し、官民連携の取り組みが拡大しております。

AI開発環境構築においては、少子高齢化に伴う人手不足や熟練技術者の高齢化による技術継承の課題を背景に、製造業などでフィジカルAIの活用ニーズが高まっており、同市場の成長を後押ししております。

この結果、当第1四半期連結累計期間におきましては、連結売上高は71億9千5百万円（前年同期比16.7%増）となりました。損益面では、営業利益は2億5千2百万円（前年同期比6.7%増）、経常利益は2億6千万円（前年同期比10.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8千1百万円（前年同期比1.5%減）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

システムソリューションにおきましては、大学向け案件において前連結会計年度から繰り越された大型ネットワークシステム案件を売上計上したことに加え、製造会社向け3D CADソフトウェアのサブスクリプションビジネス（年間更新ライセンス・保守製品）が好調に推移しました。特に、低軌道衛星製造会社向け製品のライフサイクル管理ソリューションの販売が大きく貢献したことにより、売上高は6億5千万円（前年同期比5.2%増）、営業損失は6千6百万円（前年同期は4千4百万円の営業損失）となりました。

今後は、メモリー製品等の不足により下期にずれ込んだ大学向け教育システム案件を着実に進行させるとともに、需要が増加している宇宙ビジネスにおけるPLM製品とAI、データセンター建設に伴う電力解析ソフトウェア等の市場機会を的確に捉えてまいります。

ネットワークソリューションにおきましては、低軌道衛星向け関連製品が好調に推移しました。一方で、市場環境の変化による映像配信システム案件の減少、4.9GHz帯製品の販売終了に伴う新規開発の代替製品の市場投入遅れによる無線ビジネスの不調、ならびに前年同期にJアラート新型受信機への移行に伴う関連製品の大型納入案件があったことにより、売上高は2億2千7百万円（前年同期比26.8%減）、営業損失は7千5百万円（前年同期は5千8百万円の営業損失）となりました。

今後は、パートナー向け需要を含む新規開発の無線機器の拡販、および国産アンテナメーカーとの協業による低軌道衛星の地上アンテナ局設置事業の推進に取り組んでまいります。

電子部品及び機器におきましては、連結子会社である株式会社エアロパートナーズにおいて、防衛省向け航空機用部材の一部納入予定が下期から前倒しとなったことにより、売上および利益に貢献しました。また、半導体市場の需要回復を背景に、生産ラインFA向け半導体製品の売上も順調に推移しました。低軌道衛星搭載部品の新

規受注・売上により、売上高は63億1千6百万円（前年同期比20.7%増）、営業利益は3億9千3百万円（前年同期比16.0%増）となりました。

今後は、好調な防衛省向け航空機用部材に加え、低軌道衛星搭載部品のラインアップ拡充およびAI、データセンター向け機能性接着剤の拡販に努めてまいります。

なお、セグメント間取引については、相殺消去しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産は138億1千2百万円（前連結会計年度末129億4千4百万円）、負債は77億7千9百万円（前連結会計年度末68億8千5百万円）となりました。主に流動資産と流動負債が前連結会計年度末に比べて増加しました。その主な理由は、流動資産では、前連結会計年度末に購入した商品及び製品が減少しましたが、前受金等の入金により現金及び預金が増加しました。流動負債では、子会社における支払債務は減少しましたが、借入金と前受金が増加しました。

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は130億6千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億1千万円増加しました。これは主に、商品及び製品は4億5千8百万円減少しましたが、現金及び預金が13億8千4百万円増加したことによりです。

固定資産は7億4千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ4千2百万円の減少となりました。これは主に、繰延税金資産が4千5百万円減少したことによりです。

この結果、資産合計は138億1千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億6千8百万円増加しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は70億9千万円となり、前連結会計年度末に比べ9億1千5百万円増加しました。これは主に、支払手形及び買掛金が14億5百万円、未払法人税等が7千9百万円減少した一方で、子会社における短期借入金が16億2千万円、前受金が8億1千7百万円増加したことによりです。

固定負債は6億8千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ2千1百万円減少しました。これは主に、子会社における長期借入金が2千2百万円の減少したことによりです。

この結果、負債合計は77億7千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億9千4百万円増加しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は60億3千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ2千5百万円減少しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加8千1百万円、および配当による利益剰余金の減少1億5百万円によりです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期（累計）連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2026年5月13日に公表しました業績予想を修正いたしました。なお、当該予想に関する詳細につきましては、本日公表の「2027年3月期 第2四半期（中間期）の業績予想値の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、2027年3月期通期の連結業績予想につきましては、変更の必要性が生じた場合には別途開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,111,943	5,496,512
受取手形、売掛金及び契約資産	5,162,052	5,160,748
電子記録債権	57,615	75,853
商品及び製品	1,415,065	956,862
前渡金	1,265,720	1,250,789
その他	147,438	127,430
貸倒引当金	△6,547	△4,181
流動資産合計	12,153,288	13,064,015
固定資産		
有形固定資産	430,211	420,964
無形固定資産	35,649	57,340
投資その他の資産		
投資有価証券	31,630	31,630
繰延税金資産	118,526	73,364
その他	174,700	165,358
投資その他の資産合計	324,857	270,354
固定資産合計	790,717	748,659
資産合計	12,944,006	13,812,675
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,155,591	749,723
短期借入金	2,620,000	4,240,000
1年内返済予定の長期借入金	100,524	97,724
未払法人税等	214,599	135,392
前受金	507,710	1,324,900
その他	576,456	542,651
流動負債合計	6,174,881	7,090,391
固定負債		
長期借入金	487,412	465,081
退職給付に係る負債	192,657	194,287
役員退職慰労引当金	3,720	4,334
その他	26,871	25,754
固定負債合計	710,661	689,458
負債合計	6,885,542	7,779,850
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,426,916	3,426,916
資本剰余金	606,241	606,241
利益剰余金	2,106,703	2,082,737
自己株式	△112,350	△112,350
株主資本合計	6,027,511	6,003,544
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	15,321	13,198
土地再評価差額金	△11,613	△11,613
為替換算調整勘定	3,478	3,687
退職給付に係る調整累計額	△9,304	△8,723
その他の包括利益累計額合計	△2,118	△3,452
非支配株主持分	33,070	32,732
純資産合計	6,058,463	6,032,825
負債純資産合計	12,944,006	13,812,675

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	6,163,935	7,195,495
売上原価	5,312,491	6,285,039
売上総利益	851,444	910,455
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	324,400	336,949
退職給付費用	9,828	14,071
貸倒引当金繰入額	327	△2,365
役員退職慰労引当金繰入額	237	614
その他	280,349	309,000
販売費及び一般管理費合計	615,143	658,269
営業利益	236,300	252,186
営業外収益		
受取利息	989	1,600
受取賃貸料	594	627
為替差益	4,953	22,467
その他	351	316
営業外収益合計	6,889	25,011
営業外費用		
支払利息	5,718	12,228
支払手数料	1,421	4,443
その他	0	149
営業外費用合計	7,140	16,821
経常利益	236,049	260,377
税金等調整前四半期純利益	236,049	260,377
法人税、住民税及び事業税	84,427	126,196
法人税等調整額	63,200	45,871
法人税等合計	147,627	172,068
四半期純利益	88,421	88,308
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,306	6,439
親会社株主に帰属する四半期純利益	83,114	81,868

(四半期連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	88,421	88,308
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△3,530	△2,122
為替換算調整勘定	△381	208
退職給付に係る調整額	315	580
その他の包括利益合計	△3,596	△1,333
四半期包括利益	84,825	86,975
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	79,518	80,535
非支配株主に係る四半期包括利益	5,306	6,439

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	9,666千円	10,784千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	システムソリューション	ネットワークソリューション	電子部品及び機器			
売上高						
外部顧客への売上高	618,357	311,425	5,234,153	6,163,935	—	6,163,935
セグメント間の内部売上高又は振替高	12	1,197	2,344	3,554	△3,554	—
計	618,370	312,622	5,236,497	6,167,489	△3,554	6,163,935
セグメント利益又は損失（△）	△44,219	△58,919	339,439	236,300	—	236,300

(注) セグメント利益又は損失（△）の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	システムソリューション	ネットワークソリューション	電子部品及び機器			
売上高						
外部顧客への売上高	650,750	227,867	6,316,877	7,195,495	—	7,195,495
セグメント間の内部売上高又は振替高	12	868	4,277	5,158	△5,158	—
計	650,762	228,736	6,321,154	7,200,653	△5,158	7,195,495
セグメント利益又は損失（△）	△66,212	△75,490	393,888	252,186	—	252,186

(注) セグメント利益又は損失（△）の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。